

新典社 書籍注文書

TEL : 03-3233-8051 FAX : 03-3233-8053

Mail : info@shintensha.co.jp

取次番線印

ご発注日: 年 月 日
書店名:
書店コード:
ご担当者様名:
取次:
番線:
電話:
FAX:
MAIL:
コメント欄:

〈注意〉

※番線印ははっきりとご押印ください。

※お送りいただく注文書は、番線印の入った当ページの他、必要なページのみで差支えございません。

※価格は本体価格表記です。

※注文部数欄にスラッシュの入った書籍はご注文いただけません。

※在庫僅少などの理由でご注文いただけない場合もございます。ご了承ください。

※在庫の確認はお電話でも承っております。

※ご返信内容を読み取ることが難しい場合には、折り返しご連絡申し上げますので、
ご連絡先のご記入をお願い申し上げます。

その他、ご不明な点などがございましたら、電話番号またはメールアドレスに、
お気軽にお問い合わせください。

株式会社 新典社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-44-11

TEL03-3233-8051/FAX03-3233-8053

担当: IT事業部 工藤健司

Mail: info@shintensha.co.jp

◆新典社新書シリーズ◆

注文部数 冊	清水婦久子 著 光源氏と夕顔—身分違いの恋— 978-4-7879-6101-3 新書判並製 160 頁 1000 円	新典社新書 1 『源氏物語』で人気のヒロインの一人、夕顔。彼女の人物像が、一つの和歌をどう読むかで一変する! 通説の矛盾に鋭くせまり突きくずす中から、古典の面白さ、そして光源氏と夕顔二人の本当の恋のすがたが見えてくる。
注文部数 冊	笹本正治 著 戦国時代の諏訪信仰—失われた感性・習俗— 978-4-7879-6102-0 新書判並製 160 頁 1000 円	新典社新書 2 その日、諏訪大社の水が赤く染まった—あの武田信玄も怖れ、信仰していた大社に起こった異変を、当時の人々はどう受け止めたのか。現代の日本人が失いつつある感性を、戦国時代からまなぶ。
注文部数 冊	井上泰至 著 〈悪口〉の文学、文学者の〈悪口〉 978-4-7879-6103-7 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 3 芭蕉・西鶴・近松・蕪村・上田秋成・平賀源内など、江戸時代の文学者たちが残したさまざまな「悪口」を通して、彼らの知られざる人間ささや作品の魅力にせまる、まったく新しいタイプの江戸文学入門。
注文部数 冊	志村有弘 著 のたれ死にでもよいではないか 978-4-7879-6104-4 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 4 知られざる作家たちの生と死—大泉黒石・森清秋・永見徳太郎・種田山頭火・藤澤清造・松原敏夫—評価されないまま、世間に埋もれ死んでいった六人の文人たちがのこしたことば、ドラマチックな人生を、その強烈な人間性・作品に魅せられた著者が鮮やかに描き出す。
注文部数 冊	鷲山茂雄 著 源氏物語—語りのからくり 978-4-7879-6105-1 新書判並製 160 頁 1000 円	新典社新書 5 「紫の上」の名前に隠された危険な真実—物語の語り手たちによって繰り出される言葉のトリックに注目すれば、『源氏物語』はもっと面白くなる。
注文部数 冊	諏訪春雄 著 天皇と女性霊力 978-4-7879-6106-8 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 6 天皇制を支えてきたのは女性の霊力である—日本人の宗教観に根づく女性霊力とその価値観が、どのように継承・変質したかを探り、日本人とは何か、また日本における女帝のゆくえにせまる。
注文部数 冊	白石広子 著 バタヴィアの貴婦人 978-4-7879-6107-5 新書判並製 160 頁 1000 円	新典社新書 7 江戸時代、パテレン追放令により国外へ追放された人々がいた。異国の地にあつて誇り高く生きた「じゃがたらお春」の人生を、当時のバタヴィアや、ヨーロッパに日本ブームをもたらしたケンペルの残した記録などを元に鮮やかに描き出す。
注文部数 冊	廣川晶輝 著 死してなお求める恋心—「菟原娘子伝説」をめぐって— 978-4-7879-6108-2 新書判並製 160 頁 1000 円	新典社新書 8 二人の男性に求愛されてしまった! その時、彼女はどうか? 万葉集では大伴家持ら有名歌人の歌のモデルとなり、後に物語や謡曲、そして森鴎外の作品の題材にまでなった菟原娘子。日本人の心を惹きつけてやまないその伝説の魅力とは? 人々が受けつぎ、つむぎ、そして生まれた、ひとつの新たな文学史のかたち。
注文部数 冊	吉成直樹 著 酒とシャーマン—『おもろさうし』を読む 978-4-7879-6109-9 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 9 いにしへの琉球王国の香りを伝える歌謡集『おもろさうし』。ひとびとの信仰と酒との関わり注目して、歌を読み解いていくと、知られざる沖縄文化の深層が見えてくる。
注文部数 冊	福寛美 著 喜界島・鬼の海城—キカイガシマ考— 978-4-7879-6110-5 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 10 南の海に浮かぶサンゴ礁の島、喜界島。ヤマト(日本)と琉球王国それぞれの文化圏の境界にあり、また「貴」「鬼」など、さまざまなイメージで記され伝えられてきたこの島の真の姿に迫る。
注文部数 冊	廣岡義隆 著 萬葉の散歩みち 上巻 978-4-7879-6111-2 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 11 日本に現存する最古の歌集『萬葉集』。様々な視点からながめてみると、新鮮な発見がうかがえ、それぞれの生活や意見が鮮明に見えてくる。物語や、人々の思い、そして今や知る人も少ない美しいことばの数々…。萬葉びとの世界を自由にすずろ歩く楽しい散歩みち。
注文部数 冊	廣岡義隆 著 萬葉の散歩みち 下巻 978-4-7879-6112-9 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 12 日本に現存する最古の歌集『萬葉集』。様々な視点からながめてみると、新鮮な発見がうかがえ、それぞれの生活や意見が鮮明に見えてくる。当時の風習や人生観、旅と自然との関わりなど、萬葉集の世界がより一層身近に感じられる、楽しい散歩みち。
注文部数 冊	堀切実 著 偽装の商法—西鶴と現代社会 978-4-7879-6113-6 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 13 後を絶たない偽装事件。江戸に暮らした人々も、同じような目に遭っていた。西鶴の鋭い観察眼を通して、偽物を見抜く力を養う一冊。
注文部数 冊	大輪靖宏 著 待つ女の悲劇 978-4-7879-6114-3 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 14 携帯電話もパソコンメールもない時代。帰らぬ男をひたすら待つか。ただ待つだけでは済まなかった、江戸の「待つ女」たちの姿とは。
注文部数 冊	渋谷栄一 著 源氏物語の季節と物語—その類型的表現 978-4-7879-6115-0 新書判並製 160 頁 1000 円	新典社新書 15 源氏物語の登場人物がたどる、生・病・死、恋と別れなどを主題とした壮大な物語世界を、季節の描写、その背景との関係から読み解く。
注文部数 冊	佐伯雅子 著 平家物語の死生学 上巻 978-4-7879-6116-7 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 16 平氏の栄華と没落の様子がドラマチックに描かれた平家物語。過酷な状況の中で登場人物たちは、自らの「死」をどのようにとらえ、そして向き合ったのか。物語を読み解きながら、その死生観にせまる。

◆新典社新書シリーズ◆

注文部数 冊	佐伯雅子 著 平家物語の死生学 下巻 978-4-7879-6117-4 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 17 平氏の栄華と没落の様子がドラマチックに描かれた平家物語。過酷な状況の中で登場人物たちは、自らの「死」をどのようにとらえ、そして向き合ったのか。物語を読み解きながら、その死生観にせまる。
注文部数 冊	田中善信 著 芭蕉—俳聖の実像を探る 978-4-7879-6118-1 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 18 死後、「俳聖」と記され、神とまであがめられた松尾芭蕉。偉大な俳人の、その知られざる生涯にせまる。
注文部数 冊	岩坪健 著 光源氏とティータイム 978-4-7879-6119-8 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 19 衣装・化粧・マナー・恋愛・出産・死生観…。『源氏物語』のおもしろい箇所、王朝文化の魅力をセレクトしたロイヤルブレンドの一冊。光源氏とともに人生を歩んできた、ある青年がおくるティータイムのおしゃべり。
注文部数 冊	小野恭靖 著 ことば遊びへの招待 978-4-7879-6120-4 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 20 なぞ・判じ物・回文・倒言・アナグラム。古くから愛されてきたことば遊びの歴史をたどりながら、解き方やポイントを紹介します。
注文部数 冊	吉丸雄哉 著 武器で読む八犬伝 978-4-7879-6121-1 新書判並製 160 頁 1000 円	新典社新書 21 曲亭馬琴が二十八年の歳月をかけて刊行した『南総里見八犬伝』。見せ場の多くはその戦いの場面にあり、登場人物たちのキャラクターやシチュエーションに合わせて、様々な武器が登場する。武器の描写に馬琴がどんな意匠を凝らしたのか。スペクタクルを演出する武器から「八犬伝」を読む。
注文部数 冊	北島信一 著 神の香り秘法の書—中国の摩崖石経・上— 978-4-7879-6122-8 新書判並製 160 頁 1000 円	新典社新書 22 1400年程前の中国、北齊の国に、自然の岩に経典や仏名を刻みつけてまわった一人の僧侶がいた。今なお残る巨大モニュメントのその時代背景と、作り上げた僧侶の信仰。またそこに使われている様々な特殊文字の意味を解き明かす。
注文部数 冊	深沢徹 著 都市空間の文学—藤原明衡と菅原孝標女— 978-4-7879-6123-5 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 23 漢文学の藤原明衡と、かな文学の菅原孝標女。文化的な立場が大きく異なるふたりは、平安京という都市空間に時をほぼ同じくして生きていた。仏教的厭世観がただよう末法の世で、ふたりはそれぞれの文学にどんなしぐさやことばを書きつけたのか。思いがけない出会いは、現代のわたしたちにさえ、まだない未来への導きを提示する。
注文部数 冊	吉海直人 著 百人一首かるたの世界 978-4-7879-6124-2 新書判並製 160 頁 1000 円	新典社新書 24 人気のゲームとして、大衆に広く親しまれている百人一首かるたの文化的変遷とは。江戸期に華やかさを競ったかるたから、雑誌付録のかるた、大戦中ならではのかるたまで。百人一首グッズコレクターでもある著者所蔵のかるたが舞う。見たことのない多種多様なかるたの図版が満載。
注文部数 冊	古田島洋介 著 これならわかる返り点—入門から応用まで— 978-4-7879-6125-9 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 25 漢文の授業やテストの時に、多くの人がおそろおそろ書き込んでいたあの「返り点」。その体系的な知識が、この一冊を読めば自分のものに!漢文がぐっと身近なものになる、画期的な一書。
注文部数 冊	高橋博巳 著 東アジアの文芸共和国—通信使・北学派・兼葭堂— 978-4-7879-6126-6 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 26 江戸時代二百六十年を通じて、朝鮮通信使の来日は十二回を数える。通信使には、儒学や漢詩にすぐれた者が随行しており、日本国内の文人と国境やことばの壁を越えた文化交流を果たしていた。制約の多い時代にあつて生まれたこの「文芸共和国」とも称すべき心の交流を掘り起こし、さらには通信使帰国後の記録から、交流の偉績を見出す。
注文部数 冊	辰巳正明 著 歌垣—恋歌の奇祭をたずねて 978-4-7879-6127-3 新書判並製 160 頁 1000 円	新典社新書 27 多くの男女が集い、お互いに歌をやりとりしながら思いを通わせてゆく恋歌の祭典、それが「歌垣」。中国の西南部で現在も行なわれている歌垣のようすを探り、また日本でかつて行なわれていた歌垣について、その状況を様々な資料から明らかにすることで、万葉集以来、今なお息づく歌の文化とそのルーツにせまる。
注文部数 冊	小谷野純一 著 紫式部日記の世界へ 978-4-7879-6128-0 新書判並製 160 頁 1000 円	新典社新書 28 おのが心の奥底に「暗闇」をかかえる書き手、紫式部は研ぎ澄まされた鋭利な眼差しで周囲と自らを見つめ、自在に日記を紡いでいく。整然と長編物語を織りなした紫式部の、日記における柔軟すぎるほどの表現世界。単なる記録の営みから飛躍していく『紫式部日記』を鋭く読み解く。
注文部数 冊	吉田弥生 著 芝居にみる江戸のくらし 978-4-7879-6129-7 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 29 江戸時代の人々は、自分たちの生きている時代を自ら最良にし謳歌していたという。だからこそ、そのくらしぶりは江戸人たちのあこがれであった歌舞伎の舞台にもいきいきと登場する。人気役者の衣装、日本食の定番メニュー、江戸の住居や芝居小屋。江戸時代から現代まで人気の芝居、歌舞伎から抜き出した、めくるめく江戸の粋。
注文部数 冊	楠元六男 著 我を絵に看る—芭蕉の甲斐行— 978-4-7879-6130-3 新書判並製 160 頁 1000 円	新典社新書 30 芭蕉という一個人の人生の転機。それは、甲斐へ旅立つ前の数年間に集約されている。江戸の大火遭遇から甲斐へ避難する道程で、芭蕉はおのれを見つめる深遠な視点を獲得し、やがて旅人へと変貌していく。甲斐行において詠まれた句、時代状況・俳壇状況などから、旅人・芭蕉誕生の原点をさぐる。
注文部数 冊	熊谷義隆 著 源氏物語 二つのゆかり—継承の主題と変化— 978-4-7879-6131-0 新書判並製 160 頁 1000 円	新典社新書 31 桐壺更衣に端を発し、藤壺、紫の上へとつながる「紫のゆかり」と、桐壺更衣から明石君へと流れる血縁がなす「復権のゆかり」。二つのゆかりは、光源氏の運命を定めた三つの予言の間にたゆたい、長編物語を構築する。表には見えない物語や、作者紫式部の隠された意図をも乗せ、一貫して源氏物語を支えているものとは。
注文部数 冊	石黒吉次郎 著 御家騒動の物語—中世から近世へ— 978-4-7879-6132-7 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 32 中世の能や御伽草子が編み出した武家騒動のストーリーは、戦国の乱世を経た近世に、御家騒動物として確立する。演劇や物語に展開し、人々の注目を集めた主導権争いや相続問題。うずまく裏切りや忠誠心。いつの世にも通じる人間たちの営みを「御家騒動の物語」へと仕立てた、そのドラマツルギーを中世にたどる。

◆新典社新書シリーズ◆

注文部数 冊	綿拔豊昭 著 礼法を伝えた男たち 978-4-7879-6133-4 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 33 人と人が付き合うためにはルールが必要である。日本の礼儀作法は、戦国期から現代まで脈々と受け継がれ、日本人のアイデンティティを形成する文化としての一面を持っている。どのような人々が礼法を学び、教え伝えてきたのか。「人」からたどる礼儀作法の文化史。
注文部数 冊	森岡ゆかり 著 文豪だって漢詩をよんだ 978-4-7879-6134-1 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 34 日本近代文学を代表する七人の文豪。彼らは漢詩を愛読し、また自ら詠むことで、日本語の優れた使い手としての語彙や表現を磨き上げてきた。漢詩と文豪たちの、ときに微笑ましいまでの逸話は、漢詩をぐっと身近に感じ、近代日本文学をより面白く読むためのエッセンス。
注文部数 冊	宮崎莊平 著 清少納言「受難」の近代—「新しい女」の季節に遭遇して— 978-4-7879-6135-8 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 35 「王朝の二大才媛」として、長いあいだ並び高く評価されてきた紫式部と清少納言。だが、大正デモクラシーの風が吹き荒れる近代、清少納言ひとりのみが、不当な非難にさらされた。『青鞥』や平塚らいてうが脚光を浴びる中でたち現れた「新しい女」というあり方、そして「新しい女」への苛烈な集中砲火。時代風潮ゆえに清少納言が遭遇した「受難」の季節を明らかにする。
注文部数 冊	杉下元明 著 男はつらいよ 推敲の謎 978-4-7879-6136-5 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 36 大人気の映画「男はつらいよ」シリーズには決定稿だけではなく、準備稿を含め数多くの脚本が残されていた。推敲の中で、ストーリーやキャラクターはどのように練り上げられていったのか。昭和四十四年八月に封切りの第一作から平成七年十二月の第四十八作まで、全四十八作それぞれの関連原稿を比較し、「寅さん」の生まれる過程を追いかける。
注文部数 冊	志水義夫 著 古事記の仕組み—王権神話の文芸— 978-4-7879-6137-2 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 37 日本現存最古の古典文学、古事記。「王権の書」という従来の研究成果を踏まえつつ、アニメやコミックに囲まれて育った世代に向けて、エンターテインメントとしての読み方を提供。古事記神話の構造は、ウルトラマンやポケモンにも共通している!? 痛快なオリジナル訳とこまマンガで、「古典」のかたいイメージを破壊しつつ、通説からの脱却、さらには成立論にも挑む。
注文部数 冊	西條勉 著 千と千尋の神話学 978-4-7879-6138-9 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 38 異郷訪問談話の中でも高い人気を誇る、スタジオジブリ映画『千と千尋の神隠し』。なぜ、こんなにも魅力的なおもしろいのか。日本古代文学研究の第一人者である著者が、数ある異郷訪問型のストーリーと比較しつつ、神話学の観点から千と千尋を読みとく。トンネルの向こうの、不思議の町に仕込まれた神話の構造とは。
注文部数 冊	廣田収 著 『宇治拾遺物語』の中の昔話 978-4-7879-6139-6 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 39 鎌倉初期に成立した説話文学『宇治拾遺物語』には、近代まで語りつがれた「昔話」とよく似た話がある。口承の昔話と説話文学を重ねて、浮かび上がってくる違い、つまりそれぞれの特質とは? 共通する「話型」を軸に東アジアやヨーロッパにまで視界を広げ、『宇治拾遺物語』の読みが時空をまたぐ。
注文部数 冊	天野紀代子 著 跳んだ『源氏物語』—死と哀悼の表現— 978-4-7879-6140-2 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 40 仮名で物語をつづることがはじめられて間もないころ、空前絶後の傑作『源氏物語』は誕生した。これほど壮大にして精妙なフィクションが、なぜ創出されたのか。光源氏の母の死に始まり、物語を底底する死と哀悼を縦軸に、筆者紫式部が目にしてきた「絵」に焦点をあて、源氏物語が跳んだ軌跡を辿る。
注文部数 冊	堤和博 著 和歌を力に生きる—道綱母と蜻蛉日記— 978-4-7879-6141-9 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 41 平安王朝の人々は現代人には想像も及ばないほど、和歌を重要視していた。そのなかでも、ことに和歌の才能に恵まれ、和歌に強いこだわりをもって生きていた、藤原道綱母。散文で書かれた表面だけでは蜻蛉日記の真相は分からない。とくに上巻前半部、和歌の重要性に目を向けると、あえて書かれなかった真実や道綱母の意図が明らかになる。
注文部数 冊	伊藤陽寿 著 「危機の時代」の沖縄—現代を写す鑑、十七世紀の琉球— 978-4-7879-6142-6 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 42 一六〇九年、沖縄(琉球王国)は薩摩の侵攻に会い、占領下となる。新たに発生した経済的負担や対外関係の変化など、先行きの全く見えない状況下で、沖縄はこの「危機の時代」をどのようにして乗り越えてきたのか。その過程を追うことで、同じく「危機」と「変化」の時代を生きる現代の日本が進むべき道をさぐる。
注文部数 冊	北島信一 著 神の香り秘法の書—中国の摩崖石経・下— 978-4-7879-6143-3 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 43 およそ一四〇〇年前の中国、北齊の国が遺した摩崖石経。山崖に刻まれた文字の神秘が明らかになった上巻につづき、下巻ではいよいよ摩崖石経の造営意義に迫る。なぜ石経は刻まれたのか、そしてなぜその造営は突如として中断されたのか。信仰、人物、歴史を付き合わせたとき、浮かび上がってきた真実とは。知られざる壮大な遺跡、その謎と意義がいま明かされる。
注文部数 冊	大島裕子 著 智恵子抄の光景 978-4-7879-6144-0 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 44 芸術家として彫刻や油絵を創作しながら、光太郎は智恵子へ思いを詩に託した。哀しくも美しく、ときに烈火のようですらあった二人の愛。そして、それを詩に結晶させた光太郎の芸術観。『智恵子抄』が誕生した背景へ、あたたかな光をそそぐ珠玉の一冊。
注文部数 冊	妹尾好信 著 昔男の青春—『伊勢物語』初段~16段の読み方— 978-4-7879-6145-7 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 45 よく知られた古典でありながら、断片的な章段のみ扱われがちな伊勢物語。主人公の人間性、物語に仕掛けられた謎など、全体を通してこそ分かる魅力を昔男の「青年期」から読み解く。
注文部数 冊	榎本正純 著 涙の美学—日本の古典と文化への架橋— 978-4-7879-6146-4 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 46 日本文学における「涙」の描写は感情表現に欠かせないものとして、古典から近現代まで脈々と受け継がれている。古典の源氏物語、平家物語、奥の細道。近現代では川端康成の「千羽鶴」など、文学作品の「涙」描写に通底する概念をさぐり、さらには「日本の私」のありようにも迫る。
注文部数 冊	福寛美 著 琉球の恋歌—「恩納なべ」と「よしや思鶴」— 978-4-7879-6147-1 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 47 琉歌の女流歌人として知られる「恩納(おんな)なべ」と「よしや思鶴(うみつる)」。なべは素朴にひたむきな愛を歌い、遊女よしやは技巧的に悲恋を歌った。多くの人々に愛唱され語り継がれる中で、構築されていくなべとよしやの人物像。ふたりの作とされる歌には、琉球の時代を生きた人々の思いや憧憬がこめられている。
注文部数 冊	小俣喜久雄 著 初代都太夫—一中の浄瑠璃—音曲に生きた元住職— 978-4-7879-6148-8 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 48 上方文化が最も華やいた江戸元禄期。初代都太夫一中は、寺の住職でありながらその身分を捨てて還俗し、ついには浄瑠璃の一流派を築いた。座敷で芸を磨き、はんなりとした語りで人気を博したその活躍は上方にとどまらず、江戸での舞台出演にも及ぶ。現在まで連続と続く、一中節草創期の姿、そして系譜。

◆新典社新書シリーズ◆

注文部数 冊	城崎陽子 著 万葉集を訓んだ人—「万葉文化学」のころみ— 978-4-7879-6149-5 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 49 万葉集はどう訓み解かれてきたのか。平安京における万葉仮名の訓じ方、契沖・宣長ら江戸の国学者たちの解釈、そして近代まで。訓む人々の情熱や時代のあり方が見える万葉集の享受史。
注文部数 冊	太田敦子 著 源氏物語 姫君のふるまい 978-4-7879-6150-1 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 50 言葉少なな深窓の姫君たち。だが、源氏物語がふとした合間に描く“ふるまい”にその思いはこめられている。冷談だと思われがちな葵の上。女三宮が柏木に見せた立ち姿と見返り姿の意義。死にゆく紫の上の手のゆくえ…。ささやかなふるまいから浮かび上がる姫君たちの真実。
注文部数 冊	山田利博 著 アニメに息づく日本古典—古典は生きている— 978-4-7879-6151-8 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 51 古事記従来の研究成果を踏まえつつ、アニメコミック世代に向けエンターテイメントとしての読み方を提供。痛快なオリジナル訳と一コママンガで通説からの脱却、さらには成立論にも挑む。
注文部数 冊	堤和博 著 紫式部・定家を動かした物語—謙徳公の書いた豊蔭物語— 978-4-7879-6152-5 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 52 藤原伊尹(謙徳公)が自分を卑官の人物・倉橋豊蔭に仮託し、八人の女性たちとの恋愛遍歴を歌物語風につづった、豊蔭物語。その内容については、源氏物語の柏木と女三の宮の恋物語を紫式部が着想する契機にもなったといわれ、物語中の冒頭和歌は小倉百人一首にも収載された。紫式部と藤原定家を動かした作品でありながら、知られざる古典であった豊蔭物語を読む。
注文部数 冊	小野恭靖 著 ことばと文字の遊園地 978-4-7879-6153-2 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 53 江戸時代のことば遊びは、現代の絵文字やギャル文字にも通じていた!?日本人が日本語を面白がり日本語を楽しむ心は、今も昔も変わらない。早口言葉や、尻取り、無理問答、=(きょ)字、鈍字など江戸のことば遊びから、現代ミステリ小説におけることば遊びまで。ことばと文字のアトラクションで楽しむ遊園地。
注文部数 冊	濱中修 著 女神たちの中世物語 978-4-7879-6154-9 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 54 鳥羽院に取り入る狐の化身・玉藻前。零落した色好みの歌人・小野小町。荒乳山で異形の子を生んだ京極御息所。小栗判官を救済する犠牲の恋人・照手姫。類まれな美貌をもち愛欲や宿業に迷いながら、それゆえにこそ彼女たちは観音や菩薩ともなった。中世の女性観・宗教観が生んだ、聖なる四人の女神たち。
注文部数 冊	半沢幹一 著 向田邦子の比喩トランプ 978-4-7879-6155-6 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 55 向田邦子は、作品の中でトランプマジックのように次々と魅力的な比喩表現を繰り出してくる。読者が思わず立ち止まり、そして唸らされる比喩の数々。短編集『思い出トランプ』からその卓越した比喩を抜き出し、向田作品を読む際の「読者の楽しみ」方を探る。没後三十年記念、向田邦子が仕掛けたマジックを再発見し、よりよく知るための一冊。
注文部数 冊	福寛美 著 夜の海、永劫の海 978-4-7879-6156-3 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 56 日本神話におけるヒルコの世界への放逐と再生。死出の旅路が天空の水界として描かれる『銀河鉄道の夜』。その他、万葉集や『タイタニック』など、神話や物語に描かれた「海」の意義とは。
注文部数 冊	岩坪健 著 ウラ日本文学—古典文学の舞台裏— 978-4-7879-6157-0 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 57 よく知っている日本古典文学の知られざる舞台裏をご紹介します。知らなかった裏側に目を向けて、いつもと違う角度から見れば「ただ丸暗記でつまらない」と思っていたものもこんなに楽しくなる。
注文部数 冊	瀬川拓郎 著 コロポックルとはだれか—中世の千島列島とアイヌ伝説— 978-4-7879-6158-7 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 58 おとぎ話と思われがちな小人「コロポックル」の伝説。史料をもとにその原像をたどると、知られざる北千島アイヌの成り立ちや、かれらの変わった習俗が浮かび上がってくる。
注文部数 冊	井上さやか 著 万葉集からみる「世界」 978-4-7879-6159-4 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 59 人々の恋愛観・天皇の日常・大都市の様相…など、万葉集には遠い時代のきらきらしい「世界」が詰まっている。歌一首一首を愉しみ、その文化に憧憬し、さらには現代を写す鏡のような事象を見いだしながら、万葉集から広がる多様な世界の切り口と垣間見の仕方をご案内。
注文部数 冊	鈴木元 著 つける 連歌作法閑談 978-4-7879-6160-0 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 60 平安前期に生まれ、室町時代の隆盛から江戸に至り、俳諧にも大きな影響を及ぼした連歌。五七五と七七を別人が詠む「つける」行為はどのように行われたか。文芸形態および言語遊戯としての側面にあらゆる角度から光をあて、連歌の本質のかつ根源的なたのしみと、連歌にのめり込んだ人々の熱気を知る。
注文部数 冊	瀬川拓郎 著 アイヌの沈黙交易—奇習をめぐる北東アジアと日本— 978-4-7879-6161-7 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 61 千島アイヌは、北海道本島のアイヌと直接接触したり言葉をかわしたりすることのない、沈黙交易をおこなっていた。この奇妙な習俗がおこなわれた謎を解く手がかりとして、沈黙交易の事例を紹介しつつ、千島アイヌのケガレ祓いの呪術に着目する。北東アジアや日本との関係における、アイヌの習俗そしてイデオロギーとは。
注文部数 冊	志水義夫 著 少年少女のクロニクル—セラムン、テツジン、ウルトラマン— 978-4-7879-6162-4 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 62 昭和全盛期に生まれ、大人たちに「理解できない子どもたち」というレッテルを貼られた「新人類」の少年少女たちは、自らを『機動戦士ガンダム』に登場する特殊能力者「ニュータイプ」になぞらえた。彼らが生まれて半世紀、今やコミックやアニメは研究世界での市民権を得るに至った。その歩みを、魔法少女、ロボット、変身ヒーローというキャラを通してふりかえる。
注文部数 冊	廣岡義隆 著 萬葉の散歩みち—統一— 978-4-7879-6163-1 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 63 日本現存最古の歌集にして、日本文化の根底をなす華、『万葉集』。そこに収められた歌の詠み手に着目し、詠み込まれたみやびに目を向け、歌が読まれた背景を辿り…。様々な視点で萬葉びとたちの豊かな世界を眺め、ゆつたりとすずろ歩く散歩みちに、待望の続編が登場。
注文部数 冊	馬上駿兵 著 文豪たちの「？」な言葉 978-4-7879-6164-8 新書判並製 128頁 800円	新典社新書 64 あの夏目漱石が「全然悪いです」と用いていた!(悪くない、とすべき?)岡本綺堂らに「役不足」の用例をたどり(力不足?)、その他、田山花袋の「女に別れる」(女と?)、芥川龍之介の「仕度をしれい」(しろ?)など。名作の中から、現代日本語の基準で見れば「？」と思われるような言葉を拾い上げ、その表現や背景から日本語と日本文学の豊かな世界へといざなう。

◆新典社新書シリーズ◆

注文部数 冊	福寛美 著 ぐすく造営のおもろー立ち上がる琉球世界— 978-4-7879-6165-5 新書判並製 160 頁 1000 円	新典社新書 65	琉球の聖域であり、多くの謎に包まれた存在、ぐすく。琉球王国官撰の神歌集である『おもろさうし』には、ぐすく造営の歌群が残されている。史書には明文化されることのなかったぐすくの真相を、同時代の歌であるおもろから拾い上げ、その造営の謎を解く手がかりを探りだす。
注文部数 冊	半沢幹一 著 向田邦子の思い込みトランプ 978-4-7879-6166-2 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 66	向田邦子の短編集『思い出トランプ』に著者が仕掛けたトリックから新たな読みの可能性を探る。人は思い込み、そして謎が生まれる。
注文部数 冊	山田利博 著 知ったか源氏物語 978-4-7879-6167-9 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 67	誰もが知っているけれど、実際に読んだ人は少ない作品『源氏物語』。『平家物語』との関係は?光源氏の仕事は?『源氏物語』の映画や現代語訳にはどんなものが?『源氏物語』にまつわるさまざまな質問に、専門家である著者が明快に回答。この一冊であなかも「源氏博士」に!?
注文部数 冊	中本真人 著 宮廷の御神楽—王朝びとの芸能— 978-4-7879-6168-6 新書判並製 160 頁 1000 円	新典社新書 68	神楽—全国各地で行われているにもかかわらず、そのルーツはよく知られていない。平安時代の天皇を魅了し、貴族たちを夢中にさせた御神楽とは、どのような行事であったのか。知られざる王朝びとの芸能文化に光を当てる本格的な御神楽入門書。
注文部数 冊	野村幸一郎 著 京アニを読む 978-4-7879-6169-3 新書判並製 160 頁 1000 円	新典社新書 69	なぜ、思春期を生きる少年少女たちは京アニの紡ぎ出す物語に惹かれるのか—そして、なぜ彼ら彼女らはずっと憧れていた“何か”をそこに発見するのか—京アニ作品『涼宮ハルヒの憂鬱』『CLANNAD』『けいおん!』『Free!』『中二病でも恋がしたい!』『響け!ユーフォニアム』を通して、現代における少年少女の居場所と、そこでの成長の物語を読み解く。
注文部数 冊	馬上駿兵 著 [文法]であじわう名文 978-4-7879-6170-9 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 70	言葉に注目し名文を読み解くと、文法的小おかしく感じられる表現にも、実は作者の心遣いが籠められている事がわかる。[文法]を通じて作品をより深くあじわう、ひと味変わった文学案内。
注文部数 冊	志水義夫 著 魔法少女まどか☆マギカ講義録—メディア文藝への招待— 978-4-7879-6171-6 新書判並製 160 頁 1000 円	新典社新書 71	衝撃的な展開と結末で話題を呼んだアニメ『魔法少女まどか☆マギカ』。観る者をひきつけるその物語、人物たちはどのようにして生まれたのか。アニメ・特撮作品も「メディア文藝」として国文学の流れの一つと考える著者が、「まど☆マギカ」の作品世界をつぶさに読み解く。開講時にインターネット上でも大きな話題となった人気講義が待望の書籍化。
注文部数 冊	西原志保 著 『源氏物語』女三の宮の〈内面〉 978-4-7879-6172-3 新書判並製 160 頁 1000 円	新典社新書 72	『源氏物語』の女君の中でも特に「内面がない」とみなされがちな人物、女三の宮。しかし先入観を排除してその言葉に耳を傾ければ、現代の女性にも似通うその人物像が明らかになる。
注文部数 冊	濱田浩一郎 著 超口語訳 徒然草 978-4-7879-6173-0 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 73	人間論・政治論・恋愛・住居論・心理など幅広い分野の話が収められている、日本三大随筆の一つ『徒然草』。本書ではその中から現代人にも役に立つエピソードを選び、わかりやすい口語訳で紹介。
注文部数 冊	馬上駿兵 著 重箱の隅から読む名場面 978-4-7879-6174-7 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 74	作家達は重箱の隅にもおいしいご馳走を詰め込んでいた! 向田邦子『思い出トランプ』に描かれた月、志賀直哉『暗夜行路』の助動詞の使い方、夏目漱石『道草』での会話の引用の仕方…。普段なら気にも留めずに読み飛ばしてしまうような些細な言葉をじっくり見て行くと、名場面を今までよりもっと深く味わえる。重箱の隅をつつく読み方の奨め。

◆新典社選書シリーズ◆

注文部数 冊	呉羽長 著 源氏物語の受容—現代作家の場合— 978-4-7879-6760-2 B6並製 224頁 1800円	新典社選書 10 川端康成の浮舟論他/円地文子の花散里論/中村真一郎の色好み論を中心とする源氏物語受容/田辺聖子の新源氏物語に至る源氏体験/瀬戸内寂聴の女人源氏物語を中心とする源氏体験。
注文部数 冊	小野恭靖 著 ことば遊びの文学史 978-4-7879-6761-9 B6並製 272頁 1800円	新典社選書 11 しゃれの文学史/判じ物の文学史・寄合の風流考/なぞの文学史・室町小歌と三段のなぞ/回文の文学史/その他ことば遊びの文学史(早口ことば・尻取りことば他)などの周縁文学に焦点を当てた。
注文部数 冊	工藤隆 著 歌垣と神話をさかのぼる—少数民族文化としての日本古代文学— 978-4-7879-6762-6 B6並製 256頁 1700円	新典社選書 12 少数民族文化の現地研究を、“日本文化論”との接点を意識しながら行ない、日本古代文学の全体を中国少数民族文化の一つとする視点から歌垣論・神話論を繰り広げる。日本の知識人必読。
注文部数 冊	芋生裕信 著 西脇順三郎の研究—『旅人かへらず』とその前後— 978-4-7879-6763-3 B6並製 208頁 1800円	新典社選書 13 「旅人かへらず」の中で「十年の間学問をすてた」とつぶやいた西脇順三郎。表現者としての西脇が転機にあった時に発表された「旅人かへらず」が形成する詩的世界の解明を試みる。
	達志保 著 徐福論—いまを生きる伝説— 978-4-7879-6764-0 B6並製 272頁 2300円	新典社選書 14 二十数ヶ所の伝承地で今なお伝説として息づく徐福。その豊かな民衆性と渡来説誕生の謎を实地調査と文献精査により、今、解き明かす!
注文部数 冊	小野恭靖 著 ことば遊びの世界 978-4-7879-6765-7 B6並製 224頁 1600円	新典社選書 15 入門編では、クイズと多彩な挿絵で“ことば遊び”の楽しさを実感。専門編では、江戸中期の瓦版資料、「判じ物」や漢字遊びの解説が、読者を“ことば遊び”の世界へ誘う。
注文部数 冊	加納重文 著 香椎からプロヴァンスへ—松本清張の文学— 978-4-7879-6766-4 B6並製 320頁 2300円	新典社選書 16 清張四十一歳にして作家となる。その総作品数は推理・風俗・評伝・歴史小説、昭和・古代史探求等五百数十。本書は全集収載の三百八十編を年代別に紹介し清張文学の軌跡に迫る。
	山下道代 著 陽成院—乱行の帝— 978-4-7879-6767-1 B6並製 192頁 1400円	新典社選書 17 九歳で天皇となり、十七歳で自らの乱行により退位させられ、八十五歳まで歴史の外側を生きた帝、陽成院。その数奇な生き様を、藤原摂関家が台頭してゆく時代を背景に、余すところなく描く。
注文部数 冊	三輪正胤 著 近代高野山の学問—遍照尊院栄秀事績考 978-4-7879-6768-8 B6並製 224頁 1600円	新典社選書 18 激動の明治初期に高野山を守り抜いた遍照尊院・栄秀。その事績を、年譜・伝授開書・和歌・漢詩等から探ることによって、近代における高野山の様相を明らかにした先駆的な一書。
注文部数 冊	青山学院大学文学部日本文学科 編 国際学術シンポジウム 源氏物語と和歌世界 978-4-7879-6769-5 B6並製 196頁 1500円	新典社選書 19 2006年1月、青山学院大学日本文学科が開催したシンポジウムを再構成。3名のパネリストによる源氏物語と和歌世界との関係に鋭く切り込んだ報告と、研究の展望、さらに、気鋭の研究者2名による論考を収録する。
注文部数 冊	倉田実 著 蜻蛉日記の養女迎え 978-4-7879-6770-1 B6並製 260頁 1800円	新典社選書 20 『蜻蛉日記』下巻に記された、道綱母が迎えた養女にかかわる記述を取り出して論じた一冊。
注文部数 冊	青山学院大学文学部日本文学科 編 国際学術シンポジウム 海を渡る文学 日本と東アジアの物語・詩・絵画・芸能 978-4-7879-6771-8 B6並製 196頁 1500円	新典社選書 21 2006年9月開催の国際シンポジウムを再構成。中世文学研究の問題意識を基本としつつ、東アジア全体を見渡す視野から中世における日本文学・文化を捉えなおす新たな試み。
注文部数 冊	中西進・辰巳正明 編 郷歌—注解と研究— 978-4-7879-6772-5 B6並製 272頁 1800円	新典社選書 22 「郷歌」は、万葉仮名の原典であると同時に、東アジア文化圏の古代歌謡を知る原典でもある。古代朝鮮半島の新羅に残された貴重な古代歌謡の全貌が、いま明らかになる。
注文部数 冊	荻野恭茂 著 晶子の美学—珠玉の百首鑑賞 978-4-7879-6773-2 B6並製 144頁 1260円	新典社選書 23 理想探求の使命に浪漫的修験者のような生涯を生きた女性、与謝野晶子。その心の宝石箱からこぼれた珠玉の短歌百首を鑑賞する。『みだれ髪』から50首、以降の歌集から50首を精選。初句索引付き。
注文部数 冊	濱口博章 著 万葉集宮廷歌人全注釈—虫麻呂・赤人・金村・千年— 978-4-7879-6774-9 B6並製 272頁 2000円	新典社選書 24 万葉集から、虫麻呂・赤人・金村・千年、四人の宮廷歌人の歌に焦点をあて、そのすべてに注釈を施した。昭和63年に発足した「芦屋萬葉集を読む会」における著者の集大成。
注文部数 冊	稲賀敬二 著 女流歌人 中務—歌で伝記を辿る— 978-4-7879-6775-6 B6並製 384頁 2800円	新典社選書 25 女流歌人中務の歌を愛し、その人となりを愛した著者が、珠玉の歌から辿る中務の人物伝。短歌雑誌『磔』への連載から、遺稿を含むすべての原稿を収録し、さらには著者への書評も収めた、待望の完全版!

◆新典社選書シリーズ◆

注文部数 冊	三野恵 著 新典社選書 26 苺萱道心と石童丸のゆくえ—古典世界から現代へ— 978-4-7879-6776-3 B6並製 144頁 1260円	父子の悲哀を描いた苺萱道心の物語。時代によって、結末や展開に様々な様相を見せるかや物語変遷の過程を、中世の古典から、江戸の芝居、近代の講談、そして現代の絵本やマンガまで辿る。
注文部数 冊	竹野静雄 著 新典社選書 27 江戸の恋の万華鏡—『好色五人女』 978-4-7879-6777-0 B6並製 256頁 1700円	江戸時代、身を滅ぼすような恋に人生をかけた五人の女がいた。実話を元に西鶴の筆がまざまざとよみがえらせた恋物語五編が、読みやすい抄訳と絵入りで、万華鏡のようにめくるめく。
	園明美 著 新典社選書 28 王朝撰関期の「妻」たち—平安貴族の愛と結婚— 978-4-7879-6778-7 B6並製 112頁 1000円	並列的な一夫多妻制だと思われていた平安期の婚姻。だが、複数の妻たちには、正妻を筆頭にした確かな序列があった。一人の正妻を決定する意義、そしてその後の正妻の地位や安定性とは。華やかな王朝撰関期。貴族たちの権力構図に大きな影響をもつ婚姻の問題と、その「妻」たちの姿に迫る。
注文部数 冊	菊池威雄 著 新典社選書 29 万葉 恋歌の装い 978-4-7879-6779-4 B6並製 208頁 1400円	美しいことば、日本語。その原点である万葉集から恋の歌を取り上げ、いまなお惹きつけられてやまない美しい情念の数々を読む。
注文部数 冊	和田正美 著 新典社選書 30 文明批評の系譜—文学者が見た明治・大正・昭和の日本— 978-4-7879-6780-0 B6並製 208頁 1400円	近代、文学作品という手段を通じて文明はどのように評されたか。鷗外・漱石・荷風ほか六名の文豪たちによる文明批評の言説を辿る。
注文部数 冊	日沖敦子 著 新典社選書 31 毛髪で縫った曼荼羅—漂泊僧 空念の物語— 978-4-7879-6781-7 B6並製 188頁 1500円	江戸前期。即心仏を目指して穀物を断ち、諸国を遍歴し、在地の人々の毛髪を求めては曼荼羅を縫いあげた僧侶・空念の物語。毛髪曼荼羅のカラー口絵つき。
注文部数 冊	小町谷照彦 著 新典社選書 32 あらすじで楽しむ源氏物語 978-4-7879-6782-4 B6並製 224頁 1600円	百人一首板本の源氏絵、源氏かるた絵合風の香図趣意絵など、各巻図版満載でめぐる源氏物語の世界。寺子屋以来の教養涵養の一つのあり方として、絵とあらすじを用いた、古典へのやさしいいざない。
注文部数 冊	吉海直人 著 新典社選書 33 「いろはかるた」の世界 978-4-7879-6783-1 B6並製 198頁 1600円	かるた成立以前のいろは歌、歌かるたの系譜に連なるいろはかるたの新たな成立論。絵札やことわざを楽しみながら、京・江戸・上方のいろはかるたを図版とともにめぐる。カラー口絵つき。
注文部数 冊	宮崎莊平 著 新典社選書 34 土屋文明私論—歌・人・生— 978-4-7879-6784-8 B6並製 260頁 2100円	土屋文明の出自、妻子など家族のこと、足利・諏訪・松本等各地域とのかかわり、人々との対外的な関係、そして独自の生き方等々に焦点を据え、文明の歌とともにたどる。土屋文明生誕120年、没後20年の年におけるひとつの土屋文明私論。
注文部数 冊	伊東玉美 著 新典社選書 35 宇治拾遺物語のたのしみ方 978-4-7879-6785-5 B6並製 176頁 1300円	鎌倉時代から今日までの平均的読者がとらえ、感じてきた『宇治拾遺物語』のおもしろさとは。説話のたのしみ方を知るガイドブック。
注文部数 冊	小谷野純一 著 新典社選書 36 更級日記への視界 978-4-7879-6786-2 B6並製 368頁 2700円	『更級日記』は単なる紀行文ではない。上洛の記は内なる視点から旅の秩序化がはかられ、少女期の物語への没入は夢を通じた信仰世界への啓示や論告という他の日記には見られない特質がある。いくなれば内面史の試みとして現前している『更級日記』を、日記内それぞれの世界に向き合い解きほぐしていく。
注文部数 冊	三村晃功 著 新典社選書 37 古典和歌の世界—歌題と例歌(証歌)鑑賞— 978-4-7879-6787-9 B6並製 256頁 1700円	高度文明の現代にあつて、閉塞感に苛まれる人々たち。古典和歌という文芸の豊穡さが現代人に生きる糧を与えてくれる。四季の歌や恋の歌など、歌題と例歌で辿る和歌の世界。
注文部数 冊	中畑充弘 著 新典社選書 38 沖縄 備瀬—あの世につながる聖空間— 978-4-7879-6788-6 B6並製 192頁 1400円	沖縄本島北部突端に、カミと交感しそして死後の世界と隣接する場所がある。フクギの緑豊かな美しい聖域、知られざる備瀬。
注文部数 冊	石井龍太 著 新典社選書 39 島瓦の考古学—琉球と瓦の物語— 978-4-7879-6789-3 B6並製 212頁 1800円	琉球の風景に印象的な赤い瓦。しかし、琉球諸島の瓦はもともと赤い色ではなかった。見過ごされてきた琉球「島瓦」の変遷を辿る。
注文部数 冊	大島龍彦 著 新典社選書 40 智恵子抄を読む 978-4-7879-6790-9 B6並製 176頁 1300円	高村光太郎と智恵子の愛の軌跡『智恵子抄』。その作品解釈を中心に詩集の内容を「人恋い譚」「同棲譚」「妻恋い譚」の三部にわけ、ふたりが過ごした時間や背景に配慮しつつ、詩のそのものの核心を見出す。
注文部数 冊	吉海直人 著 新典社選書 41 百人一首を読み直す—非伝統的表現に注目して— 978-4-7879-6791-6 B6並製 264頁 2300円	百人一首に選ばれている程の歌は、有名かつ伝統的な歌に違いないと盲信してはこなかったらうか。伝統的ではない(非歌語)表現が百人一首解読のキーワードの一つであることに注目し、藤原定家の斬新な秀歌意識に迫る。

◆新典社選書シリーズ◆

注文部数 冊	吉海直人 著 『住吉物語』の世界 978-4-7879-6792-3 B6並製	新典社選書 42 276 頁 2400 円	古本が存在せず伝本諸本も煩雑な『住吉物語』。しかし物語における不変のモチーフ・表現など、改作本へと継承されているであろう形跡もたしかにうかがえる。「不変性」を切り口に『源氏物語』以前の古典として『住吉』を論じ、停滞する研究を切り拓く。
注文部数 冊	小谷野純一 著 讃岐典侍日記への視界 978-4-7879-6793-0 B6並製	新典社選書 43 368 頁 2700 円	病苦にあえぐ堀河帝を愛し、凝視しつづけた上巻の看病記。堀河帝亡き後、鳥羽帝へ出仕しつつも藤原長子は情動のうねりにいのちを預け、下巻の出仕録は現在過去をめぐり行き来し、やがて長子は狂気に襲われる。平安日記としても異彩を放つ長子の『讃岐典侍日記』。その叙述世界に踏み込み、つぶさに読み解く。
注文部数 冊	藤本宗利 著 『枕草子』をどうぞ一定子後宮への招待— 978-4-7879-6794-7 B6並製	新典社選書 44 176 頁 1300 円	定子後宮で繰り広げられる知的競技のような応酬は、同時代の女房日記に見られるような集団の中で個絶する魂の呻きの代わりに、後宮女房ならではの公的な場での駆け引きの見事さがある。「後宮文学」として読み直す『枕草子』の魅力。
注文部数 冊	鈴木武晴 著 窪田空穂と万葉集—亡き母挽歌と富士関係歌— 978-4-7879-6795-4 B6並製	新典社選書 45 320 頁 2400 円	万葉集を考慮して詠まれた、窪田空穂の亡き母挽歌「藤衣」が、斎藤茂吉に与えた影響とは。また、窪田空穂の富士関係歌に生かされた万葉集短歌連作の型とは。万葉集研究者であり歌人でもある著者が、万葉集と窪田空穂の歌との有機的関わりをつぶさに読み解く。
注文部数 冊	古田島洋介 著 これならわかる漢文の送り仮名—入門から応用まで— 978-4-7879-6796-1 B6並製	新典社選書 46 208 頁 1500 円	漢文を訓読する際、日本人に必須となる句読点・返り点・送り仮名。そのうち、送り仮名について体系的な説明を試みる。豊富な例文と用例、巻末には練習問題および解答例・解説つき。
注文部数 冊	田中康二 著 国学史再考—のぞきからくり本居宣長— 978-4-7879-6797-8 B6並製	新典社選書 47 256 頁 1800 円	現代の日本文学・国語学・史学・民俗学。それらのルーツは江戸時代の国学に他ならない。国学創始以来三百年におよぶ歴史を本居宣長を通じて繙き、統一した国学像を描きつつ、国学の本質に迫る。
注文部数 冊	岡本隆雄 著 「一分」をつらぬいた侍たち—『武道伝来記』のキャラクター 978-4-7879-6798-5 B6並製	新典社選書 48 208 頁 1500 円	井原西鶴が、独自のアイデアをもって理想的な武士の生き様を描いた『武道伝来記』。その魅力あふれる人物たちはいかにして生まれたのか。当時の歌舞伎の様相なども視野に入れ、西鶴の魅力の根源を探る。
注文部数 冊	田中善信 著 芭蕉の学力 978-4-7879-6799-2 B6並製	新典社選書 49 160 頁 1100 円	聖とあがめられる松尾芭蕉は決して高度な知識人ではなく、本人も自らの学力不足には極めて自覚的であった。自筆本『おくのほそ道』に残された誤記・誤用から、芭蕉の学力、教養、そして筆跡の問題に迫る。『おくのほそ道』で芭蕉はなにを志向したのか。
注文部数 冊	中田節 著 大道具で楽しむ日本舞踊 978-4-7879-6800-5 B6並製	新典社選書 50 240 頁 2000 円	京都で生まれ、日本舞踊の大道具に囲まれ育った著者による、大道具の目線からみた日本舞踊。大道具の出来る過程、大道具の見せ方、東西の違いなど。伝統芸能の舞台を一度も観たことがない人から、実際に舞台上で踊る人まで、気軽に楽しめるやさしい文体と専門職ならではの鮮烈な視点がいざなう日本舞踊の世界。
注文部数 冊	平井芽阿里 著 宮古の神々と聖なる森 978-4-7879-6801-2 B6並製	新典社選書 51 272 頁 2000 円	十六歳の少女が初めて沖縄を訪れたのは「うりずん」(初夏)のことだった。神様のいる島で高校時代を過ごした少女は、以後も突き動かされるように宮古島に赴き続け、その場所や風景を体感し、ときに共感してきた。目にはさやかに見えなくても、尊く・美しい、聖なる森の世界。
注文部数 冊	小田剛 著 式子内親王—その生涯と和歌 978-4-7879-6802-9 B6並製	新典社選書 52 176 頁 1300 円	「玉のをよ絶なばたえねながらへば忍ぶる事のよはりもぞする」の絶唱で知られる、新古今随一の閨秀(女流)歌人・式子内親王。その生涯(生)と和歌(表象)について、最新の研究成果を踏まえ一般向けに書き下ろした。
注文部数 冊	三村晃功 著 古典和歌の文学空間—歌題と例歌(証歌)からの鳥瞰— 978-4-7879-6803-6 B6並製	新典社選書 53 448 頁 3200 円	前著『古典和歌の世界—歌題と例歌(証歌)鑑賞—』では対象外にした、約百の歌題と例歌(証歌)約五百七十首を粗上に乗せて詳細に論述し、前著の補完を企図して、題詠歌による和歌の世界・文学空間の完全な構築を目指す。
注文部数 冊	原國人 著 物語のいでき始めのおや—『竹取物語』入門 978-4-7879-6804-3 B6並製	新典社選書 54 160 頁 1100 円	「物語のいでき始めのおや」といわれる一方、その成立状況には謎の多い『竹取物語』を丁寧に読み解くことで見えてくるものとはなにか。内容と構造、言語遊戯(洒落、修辭法)のふたつを軸に、物語成立の謎に迫る。
注文部数 冊	廣田收 著 家集の中の「紫式部」 978-4-7879-6805-0 B6並製	新典社選書 55 256 頁 1800 円	紫式部の歌および紫式部集の独自性について分析する。物語作者である紫式部は儀式や行事の中でなにを歌い、なにを託したか。
注文部数 冊	杉本完治 著 森鷗外 永遠の問いかけ 978-4-7879-6806-7 B6並製	新典社選書 56 300 頁 2200 円	高瀬舟・興津彌五右衛門の遺書を正しく読むための知識を丁寧に綴る。鷗外生誕150周年、そこに描かれる「生の意味」とは。
注文部数 冊	田口章子 編 京都のくるわ—生命を更新する祭りの場— 978-4-7879-6807-4 B6並製	新典社選書 57 192 頁 1400 円	京都のくるわは、発生源を歌舞伎と同じくし、伝統文化の精粋を保つ祭りの場である。神事同様のもてなしが行なわれ、「生命更新」の機能をもつ。「ジェンダー」や「性」を超越した手あかのついていない、新しいくるわ論。

◆新典社選書シリーズ◆

注文部数 冊	鈴木久 著 方丈記と往生要集 978-4-7879-6808-1 B6並製 128頁 1000円	新典社選書 58 二〇一二年は『方丈記』成立から八〇〇年。鴨長明が方丈記を記した隠遁生活において、自前の楽器や和歌とともに持ち込んだ往生要集は長明の信仰生活の指針であった。
注文部数 冊	三村晃功 著 古典和歌の時空間—「由緒ある歌」をめぐって— 978-4-7879-6809-8 B6並製 288頁 2100円	新典社選書 59 古典和歌の世界および文学空間を構築する「歌」を考察する第三弾。歌題の視点から多彩な古典和歌の世界に照射を与えた前二作に続き、和歌説話を担って成立した「由緒ある和歌」の深淵世界に踏み込む
注文部数 冊	大木正義 著 作品の表現の仕組み—古典と現代 散策— 978-4-7879-6810-4 B6並製 176頁 1300円	新典社選書 60 伊勢物語から渡辺淳一まで古典から現代の諸作品における細かな表現に立ち止まり、作者が作品に託したひそかな意図を読み解く。
注文部数 冊	菊池威雄 著 鎌倉六代将軍宗尊親王—歌人将軍の栄光と挫折— 978-4-7879-6811-1 B6並製 224頁 1600円	新典社選書 61 鎌倉六代将軍宗尊親王の将軍時代は、鎌倉と朝廷との関係が最も安定し、宮廷文化と鎌倉の文化が雅を帯びて輝いた時代である。和歌をこよなく愛した親王は、和歌を権威の軸に据えて鎌倉に君臨しようとした。その宗尊親王の実像を具体的に描きつつ、親王の和歌を和歌史的な視点から捉えその特質や意義の検証を目指す。
注文部数 冊	柳澤浩哉 著 『ころ』の真相 漱石は何をたくらんだのか 978-4-7879-6812-8 B6並製 256頁 1800円	新典社選書 62 日本人に最も愛される小説、ころ。その最重要案件にして実に不可解なKの自殺の原因は、従来いわれるような先生の裏切りであったのか。これまで見過ごされてきた矛盾や不合理を、物語を丹念に奥深く読むことで解明し、漱石が意図したころの真相を浮かび上がらせる。
注文部数 冊	三村晃功 著 続・古典和歌の時空間—長流と契沖の「由緒ある歌」の展望— 978-4-7879-6813-5 B6並製 416頁 3100円	新典社選書 63 古典和歌の世界および文学空間を構築する「歌」を考察する第四弾。よい歌を作るための「由緒ある歌」を収集した一条兼良の『歌林良材集』に続いて記された、下河辺長流の『続歌林良材集』と契沖の『続後歌林良材集』。前作の続編として、この二冊の歌論書が扱う題目にそって題詠歌の故実や伝説をつぶさに紹介する。
注文部数 冊	野村幸一郎 著 白洲正子—日本文化と身体 978-4-7879-6814-2 B6並製 208頁 1500円	新典社選書 64 神仏習合を本来の日本文化の姿、あるいは、民族文化の姿として繰り返し強調する白洲正子の日本文化論は、彼女がたえず近代化の過程で隠蔽された本来の日本人のありように向けたまなざしから生まれたものである。小林秀雄、能楽、信仰、かくれ里、神仏習合を切り口に白洲正子とその目を通して発見した日本文化をたどり、随筆の再評価を試みる。
注文部数 冊	久保朝孝 編 女たちの光源氏 978-4-7879-6815-9 B6並製 208頁 1500円	新典社選書 65 光源氏との恋における一方の当事者である女君たちの立場や視線から源氏物語を読みなおすことで、絶対者光源氏の相対化を図る。藤壺・紫の上・女三の宮・六条御息所・朧月夜・花散里・明石の君・空蝉・夕顔・末摘花・秋好中宮・朝顔・玉鬘。女君たちにとっての光源氏とは。
注文部数 冊	中川桂 著 江戸時代落語家列伝 978-4-7879-6816-6 B6並製 240頁 1700円	新典社選書 66 落語の発生から寄席で演じられる形が整うまでを、上方を中心に落語家個人々に着目しつつたどる。落語の歴史を知ることで、いまの落語をより一層楽しむための一冊。
注文部数 冊	鈴木啓吾 著 能のうた—能楽師が読み解く遊楽の物語— 978-4-7879-6817-3 B6並製 400頁 3200円	新典社選書 67 観世流能楽師の鈴木啓吾が自身の舞台を勤めるにあたり執筆してきたご好評のコラムを元に、待望の一冊が完成! 能の題材となった和歌や漢詩の、大胆にしてやさしい解説から、能の作者が発想を得た源、そして能楽師である著者の想いを知る。
注文部数 冊	三村晃功 著 古典和歌の詠み方読本—有賀長伯編著『和歌八重垣』の文学空間— 978-4-7879-6818-0 B6並製 352頁 2600円	新典社選書 68 初心者向けの和歌の指南書である有賀長伯『和歌八重垣』に依拠し、詠作者の視点から古典和歌を見直し考察することで、従来の和歌の読解・鑑賞の在り方に新たな道を切り開く。
注文部数 冊	志村有弘 著 役行者のいる風景—寺社伝説探訪— 978-4-7879-6819-7 B6並製 120頁 1000円	新典社選書 69 役行者の石像は各地にある。幼い頃からカメラに親しみ、怪談断を愛好し、墓を遊び場にしていた著者が、自然とひかれていった不思議な存在・役行者。本書はその「超人役行者小角」の存在する風景を、著者が歩いて撮影した写真で紹介し、またその写真から見る姿を通して役行者の歴史上の存在意義を考察する。
注文部数 冊	志水義夫 著 澁川春海と谷重遠—双星煌論— 978-4-7879-6820-3 B6並製 192頁 1400円	新典社選書 70 江戸の澁川春海と土佐の谷重遠は書簡を通じた師弟関係にあり、天文・暦術・神道・兵学が記された膨大な書簡が残る。この二人のたった一度の面会の様子を中心に、元禄の学者たちの世界を見る。
注文部数 冊	森岡ゆかり 著 文豪の漢文旅日記—鷗外の渡欧、漱石の房総 978-4-7879-6821-0 B6並製 292頁 2300円	新典社選書 71 森鷗外のドイツへの船旅を綴った『航西日記』と、夏目漱石の房総旅行を綴った『木屑録』はともに漢文で書かれている。わかりやすいダイジェストで日記を読みつつ、文豪たちの青年期の旅路を追う。
注文部数 冊	人見千佐子 著 リアルなイーハトーヴ—宮沢賢治が求めた空間— 978-4-7879-6822-7 B6並製 320頁 2300円	新典社選書 72 人々が『雨ニモマケズ』に直感的に感じる何かの正体とは。賢治を追体験しつつ、イーハトーヴの構築過程とその本質を明らかにする。
注文部数 冊	田中徳定 著 義経伝説と鎌倉・藤沢・茅ヶ崎 978-4-7879-6823-4 B6並製 272頁 2000円	新典社選書 73 悲劇的最期を遂げ、後世には様々な伝説や、判官最良という心情を生んだ源義経。よく知られた義経ジグスカン伝説とは異なる伝承が、鎌倉・藤沢・茅ヶ崎界隈にある。義経に関する史料や文学、寺社・史跡から、湘南の地に伝わる伝説と信仰を明らかにする。

◆新典社選書シリーズ◆

注文部数 冊	野村幸一郎 著 日本近代文学はアジアをどう描いたか 978-4-7879-6824-1 B6並製 256頁 1800円	新典社選書 74 フェノロサ・森鷗外・岡倉天心・夏目漱石・後藤新平・佐藤春夫・林芙美子・保田與重郎・坂口安吾。近代日本を生きた文化人によるアジアへの認識とその脱亜・興亜の表象を見渡す。現代のアジア観に至るまでの道筋とは。
注文部数 冊	原槇子 著 神に仕える皇女たち—齋王への誘(いざな)い— 978-4-7879-6825-8 B6並製 224頁 1600円	新典社選書 75 「齋王」とはどのような人をいうのか、どういう時代に「齋王」は生き、どんな生き方をしたのか。歴史に描写された齋王たちを紹介しながら、齋王をわかりやすく概論し、文学において物語化された齋王、虚構の齋王にも言及する。
注文部数 冊	井上隆史 著 三島由紀夫『豊饒の海』VS野間宏『青年の環』—戦後文学と全体小説— 978-4-7879-6826-5 B6並製 192頁 1400円	新典社選書 76 生誕90年の三島と生誕100年の野間。戦後文学の正統と異端、政治的・思想的にも対極にある二人の窮極の大作を、今、読み直す。
注文部数 冊	矢内賢二 編 明治、このフシギな時代 978-4-7879-6827-2 B6並製 208頁 1500円	新典社選書 77 明治の演劇・百貨店美術館構想・文学における恋愛観・音楽教育・裸身への意識。「日本史の授業では学べない明治文学史」として好評を博した東京芸術学会でのオムニバス講義を一冊に!
注文部数 冊	岡山典弘 著 三島由紀夫の源流 978-4-7879-6828-9 B6並製 256頁 1800円	新典社選書 78 作家・三島由紀夫という巨大な存在はどのようにして誕生したのか。母方の親族や少年期に憧れた作家、自決直前の刺青にまつわるエピソード、他の作家によって書かれた三島像など、様々な角度からその素顔にせまる。
注文部数 冊	志水義夫 著 ゴジラ傳—怪獣ゴジラの文藝学— 978-4-7879-6829-6 B6並製 240頁 1700円	新典社選書 79 2014年のゴジラ60周年を機に、注釈という形で『ゴジラ』に向き合い、東海大学での授業の題材としてきた著者。その成果が待望の一冊に!昭和29年公開の『ゴジラ』の文学的注釈から昭和ゴジラ、平成ゴジラ、ミレニアムまで言及。映画作品一覧、聖地案内つき。
注文部数 冊	京都仏教説話研究会 編 説話の中の僧たち 978-4-7879-6830-2 B6並製 328頁 2400円	新典社選書 80 仏教説話・世俗説話・史書・軍記などにおける僧の描かれかたに着目し、作品ごとに考察する。説話集が描く僧の多様性とは。背景となった歴史や社会とは。
注文部数 冊	小野恭靖 著 古典の叡智—老いを愉しむ— 978-4-7879-6831-9 B6並製 240頁 1700円	新典社選書 81 日本古典から、老いを生きるひとたちの喜怒哀楽や、老いに必要な知恵についての金言を抜粋し解説を施した。先人たちから知る人生の道しるべ。
注文部数 冊	吉海直人 著 『源氏物語』の特殊表現 978-4-7879-6832-6 B6並製 304頁 2200円	新典社選書 82 源氏物語には他の古典にない特殊な表現や用法が見られる。時めく・上衆めく・ひとりごつ・さしつぎなどから、物語の読みを深める。
注文部数 冊	古田島洋介 著 これならわかる復文の要領—漢文学習の裏技— 978-4-7879-6833-3 B6並製 328頁 2400円	新典社選書 83 「復文」とは、書き下し文から漢文の原文を復元する学習法で、漢文に熟達するための近道として江戸時代から活用されてきた。この「復文」を現代の漢文読解に役立てる方法と実践問題を入門篇から応用篇まで網羅した新たな手引書。
注文部数 冊	矢内賢二 編 明治、このフシギな時代2 978-4-7879-6834-0 B6並製 128頁 1000円	新典社選書 84 日本史の授業では学べない明治文化史として人気の講座・第二弾。三井家の建築と生活、歌舞伎と西洋、明治時代の正岡子規、廃仏毀釈の影響。
注文部数 冊	廣田収・勝山貴之 著 源氏物語とシェイクスピア—文学の批評と研究と— 978-4-7879-6835-7 B6並製 232頁 1700円	新典社選書 85 文学を研究することはいかなる営みであるのか。日本文学と英文学を専門とする研究者が互いの話に耳を傾け、文学との向き合い方について語り、また古典をはじめ読むための留意点についてやさしく解説する。
注文部数 冊	繁田信一 著 下級貴族たちの王朝時代 『新猿楽記』に見るさまざまな生き方 978-4-7879-6836-4 B6並製 200頁 1500円	新典社選書 86 王朝時代の漢学者藤原明衡が記した新猿楽記には、博徒・武者など現代からすれば意外な職能に従事する貴族が描かれる。貴族社会において最下層にあった下級貴族たちの多様にして魅力的な生き様とは。

◆ 新典社2017年刊行書籍紹介 ◆

注文部数 冊	田中善信 著 元禄名家句集略注 山口素堂篇 978-4-7879-0641-0 A5並製 200頁 1800円	一般単行本 俳諧における元禄の名家たちを注釈するシリーズの第三篇として、山口素堂篇を刊行。芭蕉と懇意にした素堂は、蓮を愛し、機知あふれる句を詠む人であった。その作品からは芭蕉の人となりをも垣間見ることができる。
注文部数 冊	佐藤勝明 著 元禄名家句集略注 小西来山篇 978-4-7879-0642-7 A5並製 296頁 2700円	一般単行本 俳諧における元禄の名家たちを現代語訳・語釈・注釈するシリーズの第四篇は小西来山。日常を秀逸な句に仕立て上げることに長じた来山の目線からは、元禄の人々の暮らしまでもがよみがえる。
注文部数 冊	今浜通隆 注釈 本朝麗藻全注釈 四 978-4-7879-1525-2 A5上製函 636頁 18000円	新典社注釈叢書 25 高階積善の撰になる平安中期の漢詩集『本朝麗藻』。一条天皇や藤原道長・藤原公任らの漢詩を収めることでも知られる本集について、各伝本との校異を記し、訓読・通釈・語釈・作者・評釈を加える。第四巻では、撰者・積善の詩も含む巻22～28までを収載。
注文部数 冊	古代中世文学論考刊行会 編 古代中世文学論考 第34集 978-4-7879-3534-2 A5上製 336頁 6700円	古代中世文学論考 日本文学に関する研究論文の投稿論集。『萬葉集』及び『人麿集』五系統歌番号対校表(池原陽斉・藤田洋治・朝比奈英夫)/懐風藻校本本文篇一(土佐朋子)/新出『義経記』巻八零本の紹介と位置付け(和田琢磨)他。
注文部数 冊	古代中世文学論考刊行会 編 古代中世文学論考 第35集 978-4-7879-3535-9 A5上製 304頁 6300円	古代中世文学論考 古代から中世の文学に関する論考の投稿論集、第35集。懐風藻校本本文篇二・土佐朋子/犬君のゆくえ・佐藤洋美/光源氏の人物呼称・牧野裕子/後水尾院の伊勢物語講釈について・酒井茂幸/ほか。
注文部数 冊	倉橋正恵 桑原博行 小池章太郎 齊藤千恵 光延真哉 編 未刊江戸歌舞伎年代記集成 978-4-7879-4291-3 A5上製函 966頁 28000円	新典社研究叢書 291 歌舞伎の上演年月・劇場・作品・役者等を一元化した江戸時代の著作物—いわゆる年代記—から未刊の3タイトルを翻刻、解題を付す。
注文部数 冊	中井賢一 著 物語展開と人物造型の論理—源氏物語(二層)構造論— 978-4-7879-4292-0 A5上製カバー 400頁 11500円	新典社研究叢書 292 源氏物語の展開や人物造型は、いかなる仕組みによって制御されているのか。物語構造論の観点から、その論理について考証する。
注文部数 冊	佐藤勢紀子 著 源氏物語の思想史的研究—妄語と方便— 978-4-7879-4293-7 A5上製カバー 272頁 7800円	新典社研究叢書 293 『源氏物語』の思想的基盤の一つでありながら、注目される機会の少なかった仏教の方便思想について、その影響を解き明かし、主要人物の人生観がどのように描かれているかを探る。
注文部数 冊	鈴木堅弘 著 春画論—性表象の文化学 978-4-7879-4294-4 A5上製カバー 608頁 17600円	新典社研究叢書 294 “何が春画を描かせてきたのか”この問いにはじまり、日本文化における風土、神話、仏教、儒教、文学、芸能、説話、衣裳、都市構造などを横断的に考察するなかで、春画世界の奥行きに広がるイメージの多元性をあらわにす。時間と空間が織りなす春画の性表象を、アナクロニズムの手法で読み解くことで、図像学の新たな地平を開く力作。
注文部数 冊	古屋明子 著 『源氏物語』の罪意識の受容 978-4-7879-4295-1 A5上製カバー 432頁 12600円	新典社研究叢書 295 『源氏物語』に表れた密通等に対する罪意識が、中世から近代までの作品にどのように受容されてきたかを考察し、罪意識を表す語の使われ方やその効果、各作者の意図について検証する。
注文部数 冊	紙宏行 著 袖中抄の研究 978-4-7879-4296-8 A5上製函 336頁 9700円	新典社研究叢書 296 和歌における難義語について、多種多様な文献を駆使してそれらの積義を追求した、顕昭による注釈書『袖中抄』。顕昭の注釈へ向かう問題意識や注釈方法と内容の特質を明らかにしつつ、顕昭歌学の位置づけ・課題について考察する。
注文部数 冊	野村幸一郎 編 松井石根 アジア主義論集 978-4-7879-5513-5 A5上製 292頁 8500円	単行本 東京裁判で死刑判決を受け、処刑された陸軍軍人・松井石根が生前に発表した中国問題や大亜細亜主義に関する文章を復刻。松井のアジア認識に焦点を絞って、近代日本思想史上における松井の位置を俯瞰するための資料集。
注文部数 冊	中西進 編 東アジアの知—文化研究の軌跡と展望— 978-4-7879-5514-2 A5並製 400頁 5800円	単行本 日本・中国・韓国の文化を比較研究する国際学会「東アジア比較文化国際会議」日本支部における成果と今後の展望を、比較文化・比較文学・仏教文学の三本を柱に、23名の研究者が論じる。
注文部数 冊	デートレフ・ティール、中村博雄 共編 中村博雄 訳 哲学とユーモア ザーロモ・フリードレンダー/ミュノーナ笑いの理論と実践作品選集 978-4-7879-5515-9 A5並製 264頁 2500円	単行本 20世紀初頭のドイツで「哲学のチャップリン」と呼ばれた哲学者・作家、フリードレンダー/ミュノーナ。日本人の感覚とも通じる彼独特のユーモアに満ちた作品群を収録した好評日本語訳第三弾。
注文部数 冊	志水義夫 著 魔法少女まどか☆マギカ講義録—メディア文藝への招待— 978-4-7879-6171-6 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 71 衝撃的な展開と結末で話題を呼んだアニメ『魔法少女まどか☆マギカ』。観る者をひきつけるその物語、人物たちはどのようにして生まれたのか。アニメ・特撮作品も「メディア文藝」として国文学の流れの一つと考える著者が、「まどか☆マギカ」の作品世界をつぶさに読み解く。開講時にインターネット上でも大きな話題となった人気講義が待望の書籍化。
注文部数 冊	西原志保 著 『源氏物語』女三の宮の〈内面〉 978-4-7879-6172-3 新書判並製 160頁 1000円	新典社新書 72 『源氏物語』の女君の中でも特に「内面がない」とみなされがちな人物、女三の宮。しかし先入観を排除してその言葉に耳を傾ければ、現代の女性にも似通うその人物像が明らかになる。

◆◆ 新典社2017年刊行書籍紹介 ◆◆

注文部数 冊	濱田浩一郎 著 超口語訳 徒然草 978-4-7879-6173-0 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 73	人間論・政治論・恋愛・住居論・心理など幅広い分野の話が収められている、日本三大随筆の一つ『徒然草』。本書ではその中から現代人にも役に立つエピソードを選び、わかりやすい口語訳で紹介。
注文部数 冊	馬上駿兵 著 重箱の隅から読む名場面 978-4-7879-6174-7 新書判並製 128 頁 800 円	新典社新書 74	作家達は重箱の隅にもおいしいご馳走を詰め込んでいた！ 向田邦子『思い出トランプ』に描かれた月、志賀直哉『暗夜行路』の助動詞の使い方、夏目漱石『道草』での会話の引用の仕方…。普段なら気にも留めずに読み飛ばしてしまうような些細な言葉をじっくり見て行くと、名場面を今までよりもっと深く味わえる。重箱の隅をつつく読み方の奨め。
注文部数 冊	小野恭靖 著 古典の叡智—老いを愉しむ 978-4-7879-6831-9 B6並製 240 頁 1700 円	新典社選書 81	日本古典から、老いを生きるひとたちの喜怒哀楽や、老いに必要な知恵についての金言を抜粋し解説を施した。先人たちから知る人生の道しるべ。
注文部数 冊	吉海直人 著 『源氏物語』の特殊表現 978-4-7879-6832-6 B6並製 304 頁 2200 円	新典社選書 82	源氏物語には他の古典にない特殊な表現や用法が見られる。時めく・上衆めく・ひとりごつ・さしつぎなどから、物語の読みを深める。
注文部数 冊	古田島洋介 著 これならわかる復文の要領—漢文学習の裏技— 978-4-7879-6833-3 B6並製 328 頁 2400 円	新典社選書 83	「復文」とは、書き下し文から漢文の原文を復元する学習法で、漢文に熟達するための近道として江戸時代から活用されてきた。この「復文」を現代の漢文読解に役立てる方法と実践問題を入門篇から応用篇まで網羅した新たな手引書。
注文部数 冊	矢内賢二 編 明治、このフシギな時代2 978-4-7879-6834-0 B6並製 128 頁 1000 円	新典社選書 84	日本史の授業では学べない明治文化史として人気の講座・第二弾。三井家の建築と生活、歌舞伎と西洋、明治時代の正岡子規、廃仏毀釈の影響。
注文部数 冊	廣田収・勝山貴之 著 源氏物語とシェイクスピア—文学の批評と研究と— 978-4-7879-6835-7 B6並製 232 頁 1700 円	新典社選書 85	文学を研究することとはいかなる営みであるのか。日本文学と英文学を専門とする研究者が互いの話に耳を傾け、文学との向き合い方について語り、また古典をはじめ読むための留意点についてやさしく解説する。
注文部数 冊	繁田信一 著 下級貴族たちの王朝時代 『新猿楽記』に見るさまざまな生き方 978-4-7879-6836-4 B6並製 200 頁 1500 円	新典社選書 86	王朝時代の漢学者藤原明衡が記した新猿楽記には、博徒・武者など現代からすれば意外な職能に従事する貴族が描かれる。貴族社会において最下層にあった下級貴族たちの多様にして魅力的な生き様とは。